

15名に!!



行い、定数が現在の16名より1名減の15名に決まりました。
流れを詳しくご説明します。

2月6日 参考人 招致

議員間討論、常任委員会の構成、議員力アップ、議会力の強化、民意吸収力の強化などの貴重な意見を伺いました。

福島県会津若松市議会議長
目黒章三郎 氏 ▶



4月18日 公聴会

公聴人の意見

人口比で議員が何人必要なのか考えるべき。議員一人当たりの人口は1600人ほど。現状では減らすべきではない。

現在の財政悪化は現議員の在任期間中に増えてきている。執行部の「追認議会」はいらない。現状の半減8人にすべき。

人口減少の観点から議員の定数減は必要。現町議會議員が行政側に寄り添いすぎる町政運営は批判されるべきものである。

報酬を大幅に削減すべき。定数はこのままで良いが、追認議会ではダメ。もっと議員間で議論すべきではないか。

現状の活動量からみると半減以下でも良いと感じる。定数に関する定義はない。独自性を持って議論をつくしてほしい。

議員間 討論

委員会開催中以下の意見が出ました

- ・ 町民からは議員の資質向上を求められており、定数を考える時期ではない。
- ・ 監視機能として財政の緊縮を求める以上、定数も削減すべき。
- ・ 議会サポーター制度、モニター制度により減員による民意吸収機能の低下を補完すべき。
- ・ 定数の多少にかかわらず、町民の負託に応える回答を出さなければならない。